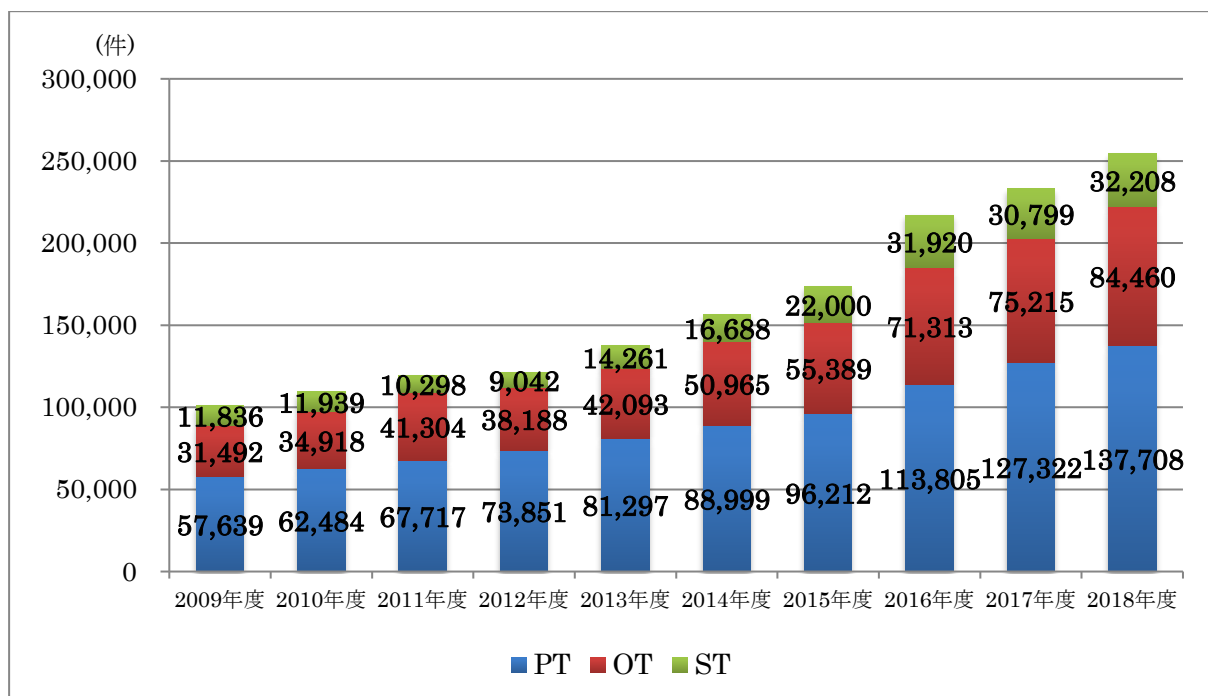


104. 療法別入院患者に対するリハビリテーション実施件数



入院患者を対象を絞り療法(理学、作業、言語)別で分類するとリハビリテーション実施総患者数全体で増加している。理学療法と作業療法において実施件数の増加が分かる。

当院は急性期病院であり、早期からの離床、患者 ADL 拡大のため、病棟への療法士派遣を推し進め、摂食嚥下リハビリの拡大にもつなげたいと考えている。

データ提供 リハビリテーション部